

持続可能な中山間地域を目指す自立的地域コミュニティ創造特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年2月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(3.5 + 4.0) / 2 = 3.8$

3.8

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	住民基本台帳人口	-140%	2
2	市政への満足度(バス・電車など公共交通機関)「満足である」又は「どちらかといえば満足」	—	—
3	各地域で民間の路線バスが運行されていないエリアにおいて、民間事業者でも行政でもない『自立経営型NPO法人』が行う生活交通事業により運行サービスが受けられる市民の割合	100%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 1 + 4 \times 0 + 3 \times 0 + 2 \times 1 + 1 \times 0) / 2 = 3.5$

3.5

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。  
 (例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標1は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が整合しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(4.3 + 5.0) / 2 = 4.7$

4.7

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

—

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

5.0

### Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.7

- ・人口の状況を見ると、自然減及び社会減が避けられない状況のなかで、一定の状況を維持しているものと思われる。NPOによる住民出資・参画型の運営を堅調に継続しており、事業展開地域の拡大やレンタカー事業などの実施は今後期待できるものである。
- ・他地域を先導する重要な取り組みであるが、生活交通サービスの利用者の減少が懸念される。自立経営型NPO法人による生活サービス提供モデルの構築に向けて、ニーズの拡大に合わせたサービス内容充実を支える運営体制の構築に努めていただきたい。
- ・住民に対してサービス継続のためにはコミュニティバスの利用促進を図ることが求められることについて、一層の理解をすすめることが重要であると思われる。
- ・NPOの自立的運営モデルについては、持続可能性に若干の無理があるように思われる。
- ・評価指標(1)の人口減少を交通サービスの充実で測定することの難しさを改めて感じる。地域による人口変動の要因の違いについて検討が必要。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.7

## 総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算  $(3.8+4.7+3.7 \times 2) \div 4 = 4.0$

4.0

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。